

平成23年川口市議会初会合

市長挨拶

平成23年5月9日

市議会改選後の初会合にあたり、一言ごあいさつを申し上げます。

議員の皆様におかれましては、過日の市議会議員選挙において、激戦の中、市民の衆望を担われ、見事当選の栄に浴されましたことに、まずもって心からお慶びを申し上げる次第であります。誠にめでとうございました。今後4年間、川口市の発展のために大いに活躍あらんことを、心からご祈念・ご期待申し上げる次第であります。

それでは、はじめに「東日本大震災」について申し上げます。

去る3月11日に発生した、三陸沖を震源とする我が国観測史上最大のマグニチュード9.0の巨大地震とその後に襲った大津波は、東北地方から関東地方にかけての太平洋沿岸部を中心に多数の死傷者や行方不明者を出し、各地に甚大な被害をもたらしました。

また、これら未曾有の被害に加え、東京電力福島第一原子力発電所における放射性物質の放出事故により住民避難を余儀なくされ、さらには農畜水産物の出荷なども制限されるなど、極めて憂慮すべき状況となっております。私は、先月26日、宮城県気仙沼市へお見舞いのため訪問して参りました。テレビや新聞の報道写真等で見える風景さながらではありましたが、やはり自分の足で現地に立ち、自分の目で直接見る、文字どおり聞きしに勝るあまりにも悲惨な現実には正に茫然自失、「頑張っ」て」という言葉さえ憚られる思いでありました。

この度の「東日本大震災」に際し、尊い命を犠牲にされた方々のご冥福を衷心よりお祈り申し上げますとともに、被害に遭われた多くの皆様に心からお見舞いを申し上げる次第であります。また、現地で献身的な救援作業に携わっている方々に深く敬意を表するとともに、被災された皆様の一日も早いご回復と被災地の復旧・復興をお祈

り申し上げる次第であります。

一方、本市におきましては、最大震度5強を観測し、地震発生後、直ちに災害対策本部を設置するとともに、消防や水道、医療センター等の職員を救援活動のため被災地へ派遣したほか、婦人会館及び南平公民館で避難された方々を受け入れるとともに、3月18日からは福島原発の影響により避難された方々を西スポーツセンターで受け入れ、ボランティアの皆さんの協力も得ながら支援や運営に携わっているところであります。

また、今回の震災に際し、多くの市民や企業、団体などから、義援金や物資の提供などのご支援をいただいております。市民の皆さんの共助の精神と復旧・復興への強い思いに深い感銘を受けるとともに、心から感謝と御礼を申し上げる次第であります。

そうした中、今回の地震により、本庁舎におきましては屋上望楼の一部損傷をはじめ、窓ガラスの破損や壁のひび割れなどが多数発生いたしました。幸いにも市内においての人的被害はなく、市全体としては軽度な被害にとどまり、安堵いたしましたところであります。

また、今回の原発事故に関連し、本市の水道水につきまして、市民の皆さんに大変なご心配をおかけいたしました。

本市の水道水の約9割は埼玉県で浄水され供給される水、いわゆる「県水」を使用しておりますが、水道水の安全性を確認するため、3月17日から県とは別個に本市独自の検査を始めましたところ、放射性ヨウ素の指標値を一時的に超える数値が検出されました。市では県に対し、直ちに安全性を確認するよう強く申し入れるとともに、独自の検査を継続し、その結果を速やかに公表しておりますが、その後の検査結果は、飲料水として全く問題のない数値となっております。なお、今後検査の結果、万一、

放射性物質が指標値を上回った場合には、速やかに乳児の居るご家庭へ安全な井戸水の配布を行なえるよう、万全の態勢を整えております。

私は、今後とも市民の安全・安心の確保のためにしっかり取り組んでいくとともに、まずは被災者の方々の支援と被災地の復興のために、我々ができることを全力でやっ
ていくことが、何より重要と、改めて決意いたしましたところであります。

議員の皆様におかれましても、何卒ご理解・ご協力を賜わりますようよろしくお願いを申し上げます。

次に、鳩ヶ谷市との合併について申し上げます。

本市では、去る1月28日の川口市・鳩ヶ谷市合併協定調印式を経て、先の3月定例市議会において、合併に必要な「川口市及び鳩ヶ谷市の廃置分合」議案ほか関連議案3件をご議決いただき、これを受けまして、去る3月25日、埼玉県知事あて申請を行なって参りました。今後は、県議会での議決、県知事の決定、総務大臣の告示を経て、いよいよ、来たる10月11日に合併を迎えることとなります。

私は、両市の円滑な合併に向けて最後の詰めをしっかりと行なった上でこの合併を成就させ、新たなまちづくりに取り組んでいくとともに、将来は、蕨市、戸田市とも一体となり、県南地域における新たな政令指定都市を目指すという大きな視点に立ちながら、今回の合併に取り組んで参りたいと考えております。

さて、引き続きまして、本日は改選後初めての会合であり、新たに議員となられた皆様もおいでになりますので、私の市政運営の基本的な考えを述べさせていただきたいと存じます。

私は、平成9年の市長就任以来、「人づくり」「産業（もの）づくり」「暮らしづくり」「まちづくり」「手づくり」の五つの視点に立って、市政運営を進めて参りました。

その第1の「人づくり」は、教育であります。私は、かねがね「人づくりなくして郷土（くに）づくりなし」と申し上げ、教育の重要性を訴えて参りました。本市では、学校教育を中心に次代を担う子どもたちの健全な育成のために、学校選択制の導入など様々な教育改革をはじめ、各種の教育施策に取り組んでいるところであります。今後とも、すべての市民が豊かな感性と意欲をもち、地域社会に貢献するとともに、生涯をとおして学び成長し、文化を育み未来を担う人材の育成を目指し、引き続き強力に推進して参りたいと存じます。

第2の「産業（もの）づくり」は、産業の振興であります。現在市内産業界は大変厳しい経営状況が続いておりますが、そうした中、昨年、議員提案による「川口市中小企業振興条例」が施行され、あわせて、産業振興施策を効果的に実施するための「川口市産業振興指針」を、この度策定したところであります。今後とも、「産業の振興なくしてまちの前進なし」の信念の下、この指針に示された施策をしっかりと進め、地方自治体としてでき得る限りの支援を講じて参りたいと考えております。

第3の「暮らしづくり」は、福祉の向上、安全・安心のまちづくり、環境対策など、市民生活に密着した施策であります。今年度の一般会計予算の実に41パーセントが、福祉等に要する民生費であり、年々増加傾向にあります。本市では、市民の皆さんの誰もが健康で幸せに暮らせることができるよう、保健・医療・福祉の連携がとれた総合的な福祉施策を展開しているところであります。

また、安全・安心なまちづくりは、行政の最も基本的な使命であり、地震や風水害、火災などから市民の暮らしを守るための防災を進めるとともに、消防・救急・救助体制の強化・充実に引き続き努めて参ります。一方、環境対策の面では、これまで、市

民、事業者、そして行政の協働による資源分別回収やレジ袋削減などの取り組みを全国に先駆けて実施して参りました。今後も引き続き、地球高温化対策や3R（スリー・アール）を基調とした廃棄物対策を推進し、環境にやさしい循環型社会の構築に向け、積極的に取り組んで参りたいと存じます。

第4の「まちづくり」は、緑豊かな生活環境を目指した、都市基盤の整備・促進であります。自然環境の保全や緑化の推進に配慮しながら、区画整理や下水道などを整備することは、市民生活の利便性・快適性を高めるとともに、本市の均衡ある発展を図るうえで、必要不可欠な施策であります。本市では、地域の特性や実情に即した都市基盤整備事業を推進し、魅力的で発展性あるまちづくりに努めて参りたいと考えております。

第5の「手づくり」は、文字どおり市民の皆さんとともに、市民手づくりのまちづくりを目指すものであります。近年、身近な地域社会に対する市民の関心は高まっており、市民と行政との情報の共有や、多様化する市民ニーズを把握しながら、その意見や提言を市の施策に反映させることは大変重要になっております。本市では、市の最高規範である自治基本条例の理念に則り、市民の皆さんが主役のまちづくりを進めるため、市民の知恵とパワーを活かした、市民との協働による行政を積極的に推進して参りたいと存じます。

以上、私の市政運営の基本的な視点に沿って、本市のまちづくりの課題や進むべき方向について、その一端を述べさせていただきました。

一方、本市では、「第4次川口市総合計画」の基本構想に掲げた将来都市像「緑 うるおい 人 生き生き 新産業文化都市 川口」の実現に向け、福祉・医療、教育、

都市基盤整備などの各種施策を積極的かつ計画的に推進しているところであります。

これを受けまして、本市の平成23年度予算編成にあたりましては、依然として厳しい状況にある景気の影響により市税収入の減少が見込まれるなど、非常に厳しい財政状況が続く中、限られた財源の重点的・効率的な配分を行ない、市民の皆さんが安全・安心に過ごせる「市民生活の安定」を重視した予算編成を行ないました結果、一般会計は、対前年度当初比4.5パーセント増の1,489億7,000万円、特別会計、企業会計を合わせた予算総額は、対前年度当初比3.1パーセント増の3,044億8,680万円となり、先の3月定例会市議会におきましてご議決を賜わったところであります。

予算の執行にあたりましては、市民の皆さんからお預かりした貴重な税金を、いかに無駄なく有効に、様々な事業や施策をとおして、またいかに市民の皆さんにお返ししていくかを基本に、職員一丸となって、しっかり事業推進に努めて参りたいと存じます。

私は常々、「まちはみんなで作るもの」と申し上げております。

現下の非常に厳しい社会経済状況ではありますが、とにもかくにも勇気と希望を持ち、議員・市民の皆さんと一体となって、共に考え、共に汗をかきながら、「住んで良かった」そして「これからも住み続けたい」と誰もが実感できる「ふるさと川口」の実現を目指して、これからも全力を傾注して参る所存であります。

結びに、議員の皆様におかれましては、今後とも、本市行政に対しまして、格段のご指導・ご協力・ご支援を賜わりますよう心からお願いを申し上げ、初会合にあたりましてのごあいさつとさせていただきます。